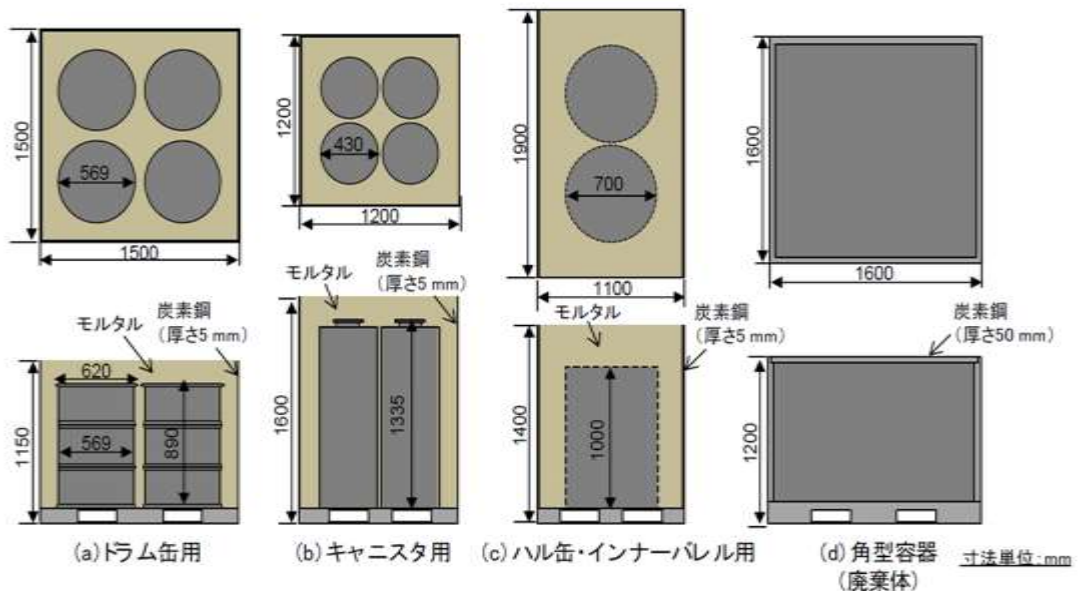


# TRU廃棄物の廃棄体パッケージと被ばく線量（1）

## TRU廃棄物の廃棄体パッケージ（上部の蓋なし）

廃棄体パッケージAの容器（上部の蓋なし）  
 →閉じ込め性能を安全評価上は考慮しない



## TRU廃棄物の被ばく線量の例（深成岩類、処分場閉鎖直後に溶出開始）

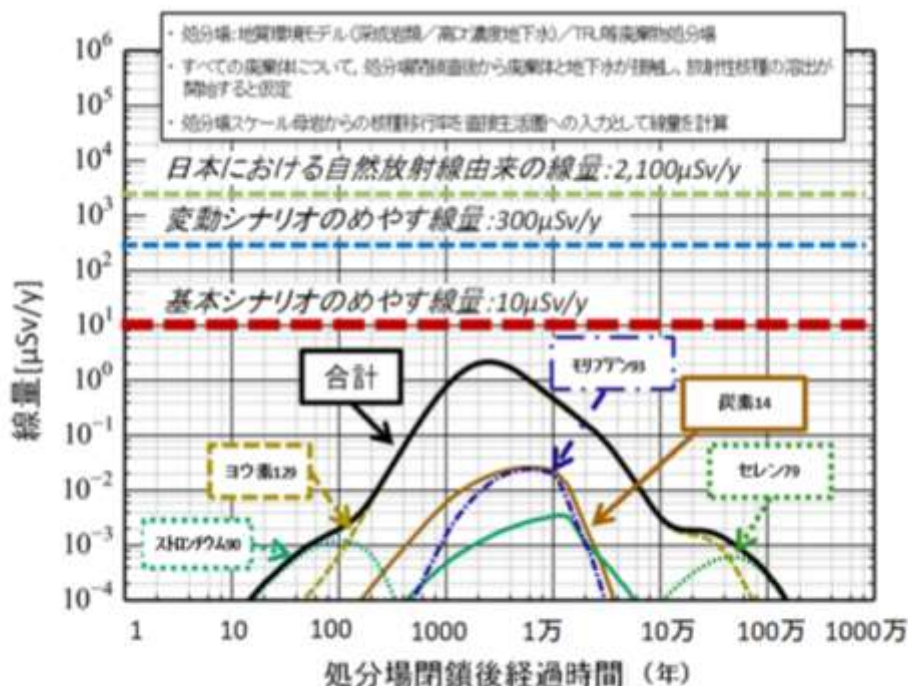


図 6.4-23 深成岩類の処分場起因する線量と支配核種（基本ケース）

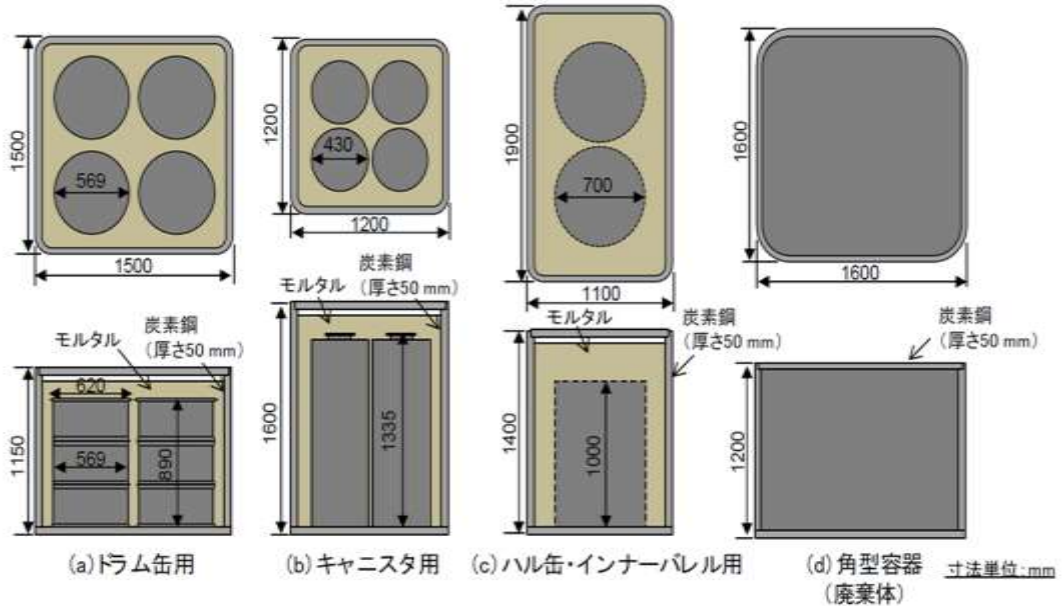
(廃棄体AパッケージAの核種溶出開始時期: 処分場閉鎖直後、廃棄体AパッケージBの核種溶出開始時期: 処分場閉鎖から300年後)

# TRU廃棄物の廃棄体パッケージと被ばく線量（2）

## TRU廃棄物の廃棄体パッケージ（上部の蓋あり、炭素鋼50mm厚容器）

廃棄体パッケージB（蓋あり、炭素鋼50mm厚の容器）

→埋設後300年間の閉じ込め性能



## TRU廃棄物の被ばく線量の例（深成岩類、処分場閉鎖から300年後に溶出開始）

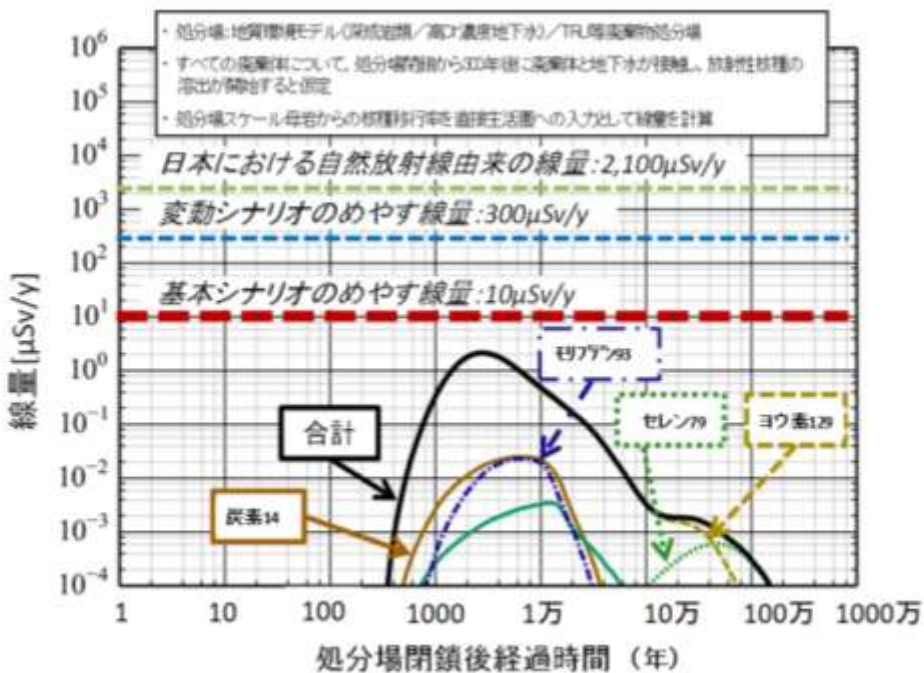


図 6.4-23 深成岩類の処分場に起因する線量と支配核種(基本ケース)

(廃棄体/パッケージAの核種溶出開始時期:処分場閉鎖直後、廃棄体/パッケージBの核種溶出開始時期:処分場閉鎖から300年後)